

AIDS 学習 2016

<HIV> ・ **Human Immunodeficiency Virus** (ヒト免疫不全ウイルス)

1 HIV に感染するとはどういうことか。

- ・白血球 { リンパ球 ・マクロファージ・キラーT・B細胞・ヘルパーT・CD4 }
- ・免疫システム

上記の言葉を使って説明できるようにする。

2 HIV の感染経路

※ HIV が多く含まれているものは、血液・精液・膣分泌液である。それらの液体が、粘膜や傷口を通して体内に侵入することにより感染する。

	種 類	行 為
①	性行為感染	HIV 感染者との性行為による感染
②	血液感染	静注薬物乱用、輸血などに伴う感染
	血液製剤(薬害)	凝固因子製剤による感染
③	母子感染	胎盤感染、産道感染、母乳感染

3 HIV への予防法

	感染経路	予 防 方 法
①	性行為感染	不特定多数との性行為をしない。コンドームの着用
②	血液感染	注射針の共用をしない。
	血液製剤(薬害)	現在では感染の可能性はない。
③	母子感染	妊娠中の薬剤。出産時の帝王切開。粉ミルクの使用。 HIV 感染者の妊娠は、人工授精(女性)、体外受精(男性)。

4 HIV の特徴

- ① 空気中・水中では生存できない。 ⇒ 食事、シャワー
- ② 皮膚感染はしない。 ⇒ 握手
- ③ 消毒剤に弱い。 ⇒ プール
- ④ 熱に弱い。 ⇒ 風呂
- ⑤ 虫や他の動物からは感染しない。 ⇒ 蚊、ペット
- ⑥ 唾液、涙、汗には微量であり、影響ない。 ⇒ タオル、食器

<AIDS>・Acquired Immunodeficiency Syndrome (後天性免疫不全症候群)

1 AIDS とはなにか。

- ・ 体内に HIV が侵入し (HIV に感染する)、免疫システムを破壊されることにより、さまざまな病気 (健康な状態ではかからない病気) にかかりやすくなる。これらの病気 (現在では 23 種) の症状になることをエイズ (AIDS が発症した) という。

2 HIV 感染から AIDS 発症まで

- ◎ HIV 感染・・・HIV が体内に侵入する



- ① ウィンド・ピリオド・・・約 2 週間 (11 日)

- ・ 抗体反応検査で判定が不可能な期間。



- ② 無症候性キャリア (AC)・・・1～10 年

- ・ 潜伏期とも呼ばれ、無症状な期間。



- ③ エイズ関連症候群 (ARC)・・・数カ月

- ・ 下痢、寝汗、体重減少、一ヶ月以上に及ぶ発熱などの症状が出る。



- ◎ AIDS 発症・・・23 種類のうちの症状が起こる。

3 AIDS 発症の主な病名・・・現在、全部で 23 種類存在する。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ① 真菌症・カンジタ症 | ② 原虫症・トキソプラズマ脳症 |
| ③ 細菌感染症・化膿性細菌感染症 | ④ 腫瘍・カポジ肉腫 |
| ⑤ ウィルス感染症・サイトメガロウィルス感染症 | ⑥ その他・反復性肺炎 |

4 AIDS ・HIV 治療法

- ① 研究・開発

- ・ 日本では HIV 訴訟の和解を踏まえて、1997 年エイズ治療・研究開発センターを設立する。

- ② 治療薬・治療法 ※世界初 AZT の開発者は満屋裕明(1985)

- ・ HIV の増殖を抑え、エイズの症状を和らげる抗ウィルス薬 (AZT) には

- ① 核酸系逆転写酵素阻害剤 ② 非核酸系逆転写酵素阻害剤 ③ プロテアーゼ阻害剤
④ インテグラーゼ阻害剤 ⑤ 侵入阻害剤

の 5 タイプに分類される。またそのタイプごとに何種類かの薬があるため、全部で 50 以上のバリエーションがある。

- ・ HAART (カクテル) 療法

50 種類以上もある薬の中から 3 ～ 4 種類うまく組み合わせて飲み、効果を高める方法を HAART (カクテル) 療法といい、現在エイズ治療の主流となっている。

5 AIDS の歴史

1959 年 ザールで死亡したイギリス人男性から、後日ウィルス検査により AIDS と発覚

1981 年 アメリカ防疫センターエイズ初の症例報告

1982 年 エイズという名称を採用

1985 年 日本人初エイズ患者認定

1986 年 松本エイズパニック

1987 年 神戸・高知エイズパニック

1988 年 「世界エイズデー」 WHO
エイズ予防法制定

1989 年 初の薬害エイズ民事訴訟(大阪)→製薬会社・厚生省

1996 年 厚生大臣の謝罪により和解成立

帝京大学医師安部英・厚生官僚松村明仁・ミドリ十字社幹部 3 名を刑事訴訟

2000 年 ミドリ十字社幹部 3 名実刑判決

2001 年 帝京大学医師安部英無罪判決・・厚生官僚松村明仁有罪判決

6 今後の課題

2014 年 国連合同エイズ計画(UNAIDS) による

- | | | | |
|-----|---------------|------------|---------------------|
| (1) | 世界で HIV 陽性者総数 | 3690 万人 | |
| (2) | 〃 新規 HIV 感染者数 | 200 万人(年間) | ※2000 年のピーク時より 35%減 |
| (3) | 〃 エイズによる死亡者数 | 120 万人(年間) | ※2004 年のピーク時より 42%減 |

2014 年 厚生労働省エイズ動向委員会 による

- | | | | |
|-----|--------------------------|---------|-------------|
| (1) | 日本で新規 HIV 感染者・AIDS 患者報告数 | 1546 件 | ※過去 3 番目の多さ |
| (2) | 〃 累積報告件数 | 24561 件 | |
| (3) | 〃 新規報告者の傾向 | | |
| | ① 男性同性間性的接触が感染者の過半数を占める | | |
| | ② 20 代の HIV 感染率が上昇傾向にある。 | | |

※ エイズによる**差別**のない**共生**できる世の中にしていくためには、**学習**をすることによって**正しい知識**を得ることが大切である。また、世界は新規感染者数などが減少傾向にあるのに対し、日本はほぼ横ばい傾向にある点においても、エイズをより**身近な問題**としてとらえ、**予防対策**を考える必要がある。